

## 目 次

この本に登場する人たち		vi
序 章		1
1 極地の氷は地球環境のタイムカプセル		
	藤井理行 (国立極地研究所)	7
2 大気大循環モデル		
	住 明正 (東京大学気候システム研究センター)	25
3 温暖化すると何が起きると予測されているのか		
	伊坪徳宏 (産業環境管理協会)	49
4 気候変動に関する政府間パネル (IPCC)		
	谷 みどり (経済産業省)	71
5 砂漠緑化とCO <sub>2</sub> とエネルギー資源		
	小島紀徳 (成蹊大学工学部)	85
6 100万円の3kW太陽光発電システムを目指して		
	太和田善久 (鐘淵化学)	101
7 化学で光合成ができる？		
	荒川裕則 (産業技術総合研究所)	123
8 バイオマスはホントに使える？		
	山地憲治 (東京大学工学部)	141
9 魔法の光触媒, 酸化チタンに魅せられて		
	藤嶋 昭 (東京大学工学部)	153

終 章 2001年の師走 \_\_\_\_\_ 171

おわりに \_\_\_\_\_ 173

この本に登場する人たち

原 美永子

東京大学生産技術研究所安井至研究室でライフサイクルアセスメントの研究をしている大学院博士課程の学生。趣味はパチスロ。将来は科学ライターになるのが夢。

山本和人

東京工業大学大学院渋谷一彦研究室で修士課程に在籍し、レーザー誘起蛍光分光の研究を行っている。2002年春からは晴れて社会人となるため、修士論文に追われる毎日。好きなスポーツはバトミントン。

市村禎二郎

東京工業大学理工学研究科教授。物質科学専攻。専門分野は物理化学（レーザー光学）。最近では環境科学にも興味をもっている。趣味はランニング、テニスなどのスポーツで身体を動かすこと。

平石次郎

編集時は（財）化学物質評価研究機構理事長。現在、（独）産業技術総合研究所副理事長。専門分野は振動分光。趣味は囲碁・将棋のテレビ観戦。

安井 至

東京大学生産技術研究所教授。元々は材料化学、特にガラスとセラミックスが専門。最近では環境を総合的に評価する方法論を研究中。趣味はホームページづくり。